横浜市立　瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成26年11月28日
平成26年度・第2号

共に学び、共に創る地域の学校『瀬谷さくら小学校』

～みんなの力で守り育てよう、瀬谷さくら小学校・さくらの子～

11月15日、瀬谷さくら小学校学校運営協議会の研修会である『さくらの会』が開催され、各部会やさくらプロジェクトの子どもたち、子どもたちの教育支援に携わっているサークルの代表が、それぞれの活動内容を発表し、質疑を行いました。本号ではそれを一括して掲載いたします。

今年度の学校運営協議会の活動について

学校運営協議会会長　網代 宗四郎

皆様　おはようございます。瀬谷さくら小学校学校運営協議会委員の皆様を代表して、協議会の活動や運営に対する考え方をご報告致します。

本日、皆様には大変ご多忙の中、ご出席いただきました事に厚く御礼申し上げます。日頃、皆様には運営協議会の活動の趣旨をご理解いただき、ご熱心に児童の皆さんのために、また、学校や地域の発展のためにご努力いただいております事に、心から感謝申し上げます。

活動報告を申し上げる前に、少しだけ児童の皆さんの様子についてふれさせていただきます。10月25日に開催された第5回運動会のテーマが『あきらめず、仲間を信じて、いざ勝負』とありました。すばらしいと思いました。

赤白応援合戦も、運動会の歌も大変元気良く、そして、みんながー丸となって行っておられる姿に感動致しました。当日は、素晴らしいお天気でしたが、その前は天候不順で合同練習もあまり出来なかったと思われますが、そんな事をみじんも感じさせないような立派なものでした。多くの保護者や地域の方々が参加され、児童の皆さんに大きな声援を送っておられました。大変嬉しい事でございます。

11月1日、瀬谷第二地区の文化祭に児童の皆さんが出演され、数曲合唱していただきました。先ほど皆さんで歌っていただきました校歌「大きな翼」を歌ってくださいました。大変難しい校歌だと思いますけれども、上手に歌われ、さらに、学校発足の経過なども、参加された皆さんにわかりやすくお話ししてくださいました。瀬谷さくら小学校の児童の皆さんが、校長先生はじめ先生方のご努力と、そして、多くの皆様の見守りとご指導により立派にすくすくと成長されていると強く感じました。

今年度も、学校運営協議会の設立のテーマを念頭におき委員の皆様や各部会に所属いただいております多くの方々と共に活動しております。詳細は、この後で報告していただきます各部会報告をお聞き願いたいと存じます。

日頃の、皆様の温かいご理解とご支援、ご協力に心より感謝申しあげます。また、青パト運行の財源確保の為のアルミ缶回収事業に、とても多くの地域の皆様や保護者の方々から、温かいご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

今年度の学校運営方針について

瀬谷さくら小学校校長　武藤 牧子

皆さん、こんにちは。瀬谷さくら小学校校長の武藤です。

本校は、平成22年４月１日に下瀬谷小学校、日向山小学校の再編統合により、瀬谷さくら小学校として開校し、今年度、５年目を迎えております。

瀬谷さくら小学校は、地域の教育力を生かした学校づくりを進める学校運営協議会が設置され、学校運営協議会のテーマ『共に学び、共に創る、地域の学校、瀬谷さくら小学校～みんなの力で守り育てよう　瀬谷さくら小学校・さくらの子～』のもと、地域に開かれた学校、地域と共に歩む学校づくりをすすめて参りました。学校運営協議会を中心に、学援隊、教育支援、地域連携、はまっこ、児童を災害から守る、広報・学校評価など各部会の皆様、保護者の皆様のお力添えをいただき、子どもたちに丁寧な指導ができるようになりました。学援隊の皆様の見守りにより、子どもたちが安全に登下校できます。また、さくらの子応援隊や地域の皆様、保護者の皆様など多くの方のご支援により教育活動の充実を図ることができています。

このように、地域や保護者の皆様のご支援により充実した教育活動を進めている本校の教育目標は、「自分大すき　友だち大すき　このまち大すき　さくらの子」です。子どもたち一人一人が自分に自信をもち、自然や人と豊かに関わりながら、まちの一員としての役割を果たし生き方を切り開いてほしいという願いが込められていると思います。この目標に向かい５つの具体目標を掲げ教育活動に取り組んでいます。

「知」では、基礎・基本を身に付け、課題解決に向けて粘り強く取り組む姿勢を育てることです。算数サポートや算数補充学習、漢字検定・計算検定など個に応じた支援への取組や具体操作や体験的な学習による実感的学びを大切にしています。また、家庭学習への取り組みも進めています。

「徳」では、規範意識を育て、善悪の判断ができる子、自分を大切にし、他を思いやれる子の育成に取り組んでいます。毎朝、学援隊の方々と交わすあいさつ、全校で取り組む「ふわふわ言葉」の実践、いのちの学習、赤ちゃんふれあい体験など、人と触れ合うことや自分自身の心に問いかける機会を多くもち、みんなが気持ちよく生活できるために大切なことを学んでいます。

「体」では、望ましい生活習慣を身につけ、進んで健康づくりに取り組む子どもの育成です。いきいきキッズタイムや縄跳び集会、特別陸上クラブや球技大会などの朝練など教職員も参加し、個々の子どもが、自分の健康に関心をもち、体力向上に主体的に取り組めるようにしています。

「公」は、地域の方との触れ合いを通して、地域を愛する子どもの育成です。本校は、大勢の地域の方が様々な活動にボランティアとして参加していただいています。地域の皆さんと触れ合うことを通して活動の充実だけでなく、人柄に触れ生き方を学ぶことができます。本当に大切な学びだと思います。

「開」は、様々な人とのコミュニケーションを通して、今日的な課題に対応できる力の育成です。本校では、図書室が学習センターとして活用されるように学校図書館司書による計画的な運営や図書ボランティアによる図書館の整備、読み聞かせなどを行っていただいています。保育園や幼稚園との交流も人とのかかわりを広げてくれます。また、今年度は、携帯やネットマナーについての指導もＰＴＡ役員の皆様のご協力により実施することができました。さらに、教育活動や地域行事等で子どもたちが表現する機会を多くもつことができました。

このように、学校の教育活動をすすめられましたのも地域の皆様、保護者の皆様のご理解とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

私たち職員も日々児童理解や授業改善に向けて研修を重ねております。

今後とも皆様のご支援をいただき、地域と共に歩む学校づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

念願の長袢纏を着た6年生

瀬谷さくら小学校PTA会長　太田 和男

おはようございます。PTA会長の太田です。日頃よりPTA活動に対し、ご理解、ご協力を賜りありがとうございます。今日は、PTAの活動を各委員会の委員長より報告させていただきます。

PTA本部は、すべてのさくらの子が笑顔で元気に活力に満ちた子に育つように、今までもこれからも、全力で企画、実行していきます。

親子道徳会では、宇宙飛行士の山崎直子さんをお招きし、『夢、宇宙』のお話をしていただきました。また、ソーラン節を踊るときには長袢纏を羽織る学校がある中、さくら小学校にはなく、6年生、保護者、卒業生、教職員の皆様から、着たい、着せてあげたいとの強い要望があり、6年生に念願の長袢纏を着せることができました。

しかし、未だ、成さねば成らぬ事も多く残っています。その一つは、次年度の本部役員候補の選出です。厚かましいお願いですが、皆様のお近くに、会長を含め本部役員にふさわしいと思える方がおられましたら、是非、ご紹介いただけたらと思っております。よろしくお願い致します。

では、各委員会より活動報告をさせて頂きます。委員会は、学年成人委員会、広報保健委員会、校外委員会、推薦ボランティア委員会の4委員会に分かれております。

学年成人委員会の棟長です。学年成人委員会の活動は、主に3つです。年3回のベルマークの収集、集計。年2回の保護者を対象にした講習会の企画運営。年2回の防犯パトロールは、、登下校時の見守りを保護者全員で行っています。

広報保健委員会委員長の小向です。広報の活動内容は、広報誌「さくら」を年3回、7月、12月、3月に発行します。来月13号が発行されますが、6月から10月までの学校、PTA行事を特集していますので、是非、お目通しをお願い致します。保健の活動内容は、1年生保護者を対象に行われる給食試食会の企画運営と、夏休み歯みがきカードの作成です。

校外委員会の菅村です。校外委員は、児童が、安全、安心して登下校できるように、先生方や学援隊の方、地域の人たちと協力して、スクールゾーンの改善や児童に交通指導を行っています。

推薦ボランティア委員会の澤田です。活動内容は、学校と保護者、地域とのより良い関係を築くために重要な、次年度PTA本部役員の推薦活動と、夏まつり、運動会、下瀬谷鍋、カーテン洗濯などのボランティア活動の総括です。会員相互の交流を図りつつ、瀬谷さくら小学校のために日夜活動しています。

ふわふわ言葉でみんな仲良し 笑顔あふれるさくらの子

瀬谷さくら小学校さくらプロジェクト

私たち瀬谷さくら小学校運営委員会「さくらプロジェクト」では、学校を明るく楽しいところにしたい、そういう思いから、ふわふわ言葉をたくさん使って、みんなの仲がさらによくなり、笑顔あふれる子がいっぱいになることが大切だと思いました。そこで、児童会のスローガンを『ふわふわ言葉で、みんな仲良し、笑顔あふれるさくらの子』にしました。そして、そのスローガンを達成するためには、自分たちが積極的にふわふわ言葉をかけあったり、思いやりのある行動をしたりすることが大切だと考えました。

そのための活動として、前期にはあいさつ運動を行いました。月曜日と木曜日に、門の前で横断幕をもち、学校へ来る人に、「おはようございます」と元気に声をかける運動です。これがその横断幕です。

また、あいさつを学校中に広げようと、あいさつ隊長という取り組みをしました。あいさつ隊長とは、みんなのお手本となるような、あいさつができるクラスの代表者のことです。1年生から6年生までの各クラスから指名され、横断幕を持ってみんなに元気にあいさつをしていました。さらに、門の前だけでなく、校舎内にもあいさつが広がるように、さくらプロジェクトのメンバーが分担して、昇降口から4階までの各階に立ち、あいさつをしました。

私はあいさつ運動を行ってきて、前よりも大きな声であいさつする人が増えたと感じています。また、自分から挨拶する人も増えました。しかし、気持ちの良い挨拶ができている人は、今も、低学年の人が多いようです。学年が上がるにつれて、上手な挨拶ができる人は少なくなっているような気がします。あいさつ運動は、「全校のみんなが気持ちのよいあいさつができるようにする」というのがめあてなので、学年を問わず誰でも気持ちの良い挨拶ができるといいなと思います。また、あいさつ運動がなくても、自然にあいさつができる学校を目指していきたいと思います。

スローガンを達成するためのもう一つの活動は、『ふわふわ言葉でいじめゼロ』作戦です。これは、健康元気委員会が中心となって進めている運動です。瀬谷さくら小学校では、ふわふわ言葉が分かるように、標語やポスターが廊下や階段に沢山掲示してあります。これは、いつでもふわふわ言葉を意識して、たくさん使っていけるようにするためです。また、ふわふわ言葉が更に増えるように、ありがとうカードの取り組みを全校で行っています。ありがとうカードとは、普段の生活の中で感じている、友達への感謝の言葉を伝えるカードのことです。このありがとうカードの活動をすると、とても心が温まり、友だちにもっと優しくしようとか、友だちにもっと感謝しようという気持ちになります。このカードは命のファイルに入れて卒業まで保存しています。

このほかにも、ふわふわ言葉を増やすために、各クラスで活動を考えて実行しています。たとえば、ふわふわ言葉を言った人も、言われた人も、ポイントがもらえる、ふわふわ言葉のポイントカードや、クラスから出たふわふわ言葉を掲示していくふわふわの木 などです。

このように一人一人がスローガンを心がけ、あいさつやふわふわ言葉を大切にした活動を行っていけば、楽しい学校になり、みんなが明るくなると思います。一人一人が相手の気持ちを考え、ひとにやさしくすれば、笑顔が増え、今よりももっといい学校になるでしょう。明るい学校を作ることは、明るい地域を作り、明るい社会を作ります。

私たち瀬谷さくら小学校は、あいさつとふわふわ言葉があふれる学校を目指し、これからも活動していきます。

さくらの子の健やかな成長を願って

さくらの子応援隊部会　野口 元

こんにちは、野口です。今日はさくらの子応援隊という事でお話しさせていただきますが、さくらの子応援隊というのは、算数サポート、モチモチ文庫、カナリヤ会などの教育支援を行っている団体と学援隊の総称です。その応援隊の教育支援活動ですけれども、やっていることは、

［算数サポート］年間23回　34名　3、4年生

［算数補充］年間11回　31名　4～6年生

子どもたちに大分顔を覚えられて、あまり慣れすぎてもどうかなという事で、苦労しています。

［クラブ活動支援］年間7回　22名　4～6年生

私たちが手伝っているのは、マラソンと科学実験と手芸、屋外運動ぐらいです。

［図書ボランティア］第2,4月曜日　15名

この後、発表してもらいます。

［モチモチ文庫］毎週金曜日　6名

この後、読み聞かせをやっていただきます。

［ウクレレ遊友会］年１回
10名　1、2年生

［カナリヤ会］年１回
25名　3、4年生

［箏の会］年１回
10名　6年生

［盆踊り指導］3日　4名　1年生

夏まつりに向けて1年生を対象に、籾山さん、横田さん、大野さん、佐藤さんにお越しいただいて、ご指導いただいています。

［植栽指導］適宜　1名

［１年生との交流会］3日　19名

最初の日は1年生から質問を受け、それに対して答える形で、2日目は昔遊びで、かるた、けん玉、コマ回し、折り紙などをやりました。3日目は、子どもたちからのお礼という事で、歌を歌ってもらったり、お礼のメッセージをもらったりしました。

［なたの使い方］

今年初めて、5年生を対象に実施しました。当初、なたなんかあるかなと思いましたが、あるもので数丁が集まり、内山、河合両先生の下で、まき割りの勉強をしました。

［支援団体］

PTA、学援隊、交流会などがあり、これらの団体からは、資金援助も頂いております。誠にありがとうございます。

マンツーマンのお手伝いで充実した40分

さくらの子応援隊部会　諸橋 茂夫

こんにちは、諸橋です。

基本的な教科の算数で、疑問点が残ってしまう、ついていけないという児童が、一部、残っているようなので、算数サポートや算数補充を始めることになりました。学習支援の方が大変多く応募していただきまして、児童3～4名に1人ぐらいのサポーターが、あるいは、算数補充では、児童2人に支援者1人と、かなり個人的な学習のお手伝いができるような状態になっています。参加している児童は目を輝かせて、今日はどの方と勉強できるのかなと、きょろきょろしています。やってみると、時間があっという間に過ぎてしまう、子どもたちもそうだと思うんですが。教室内では大きな声が出て、たとえば、九九で言いますと、2の段、3の段、4の段と、合格すればシールを張ってもらえると大喜びし、ちょっと厳しいな、ついていけないなという時には、「じゃあ、今度の時まで頑張って家でやってくる」という事で、いい競争意識が高まっている状態です。

高学年になりますと、基本的なかけ算の方で、ちょっとまだ苦手な子がいるようで、学力の差が大きくなってきているなという感じがしますけれど、そういう子でも、「ここが分からない、ここはどうやるの」と支援者に質問するような状況も

あります。支援者の方も、細かく1から10まで教えるのではなく、あっていれば「○」、違っていれば、「どうやればいいかなあ」というようなことで、子どもたちに再度考えさせたり、それでもダメな場合はヒントを出して、子どもたちが自分で正答を出すように、お手伝いをしていただいているようです。支援者の方は、どう言ったらわかってもらえるかなと、説明する時の悩みもありますが、子どもたちも、わかろうという気持ちが、傍から見ていても十分に感じられる、充実した時間が続いています。

これも、支援者の方々が大勢参加してくださるからこそ出来る事ですので、もし今後、お時間がありましたら、支援者として、保護者の方も、ご近所の方も学校へ来て頂ければありがたいと思います。瀬谷さくら小学校の学力が、どんどん伸びるとともに、楽しい学校生活ができるように、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

住みよい街づくりの実戦部隊として

学援隊長　馬場 勝己
事務局　　野口 元

こんにちは、学援隊長の馬場です。先ほど野口さんからも説明がありましたが、隊員数145名というのは、横浜でも、いや、全国でも例を見ない規模で、大変誇りに思いますし、皆様のご活躍を頼もしく思っております。隊員の老齢化も進んでいる中で、毎日の登下校時や教育支援時に、子どもたちと接し、笑顔であいさつを交わすことが元気の源になっています。これからも、身体に気を付けて、頑張っていただきたいと思います。

【隊員数】

☆145名

【活動内容】

○登下校時の見守り
- ☆校区内の通学路と周辺
- ☆登校時・全日／下校時・週3回
- ☆年間出動回数　320回
- ☆年間出動延人数　13,900名

○青パト巡回
- ☆青パトでの校区内巡回
- ☆登校時・週3回／下校時・週3回
- ☆年間　延240回　480名

○教育支援
- ☆算数サポート、算数補充、クラブ活動支援、1年生との交流などの中核になっている

○アルミ缶収集と売却
- ☆年間　約30万円

○夏まつりの警備

【活動効果】

☆児童生徒・地域の防犯
☆交通安全
☆子どもと大人のふれあい
　登下校時の挨拶
　町中での挨拶と会話
☆隊員相互、自治会相互のふれあい助け合い
　防災、防犯
☆児童が学校・地域・人間を信頼し愛する心を育む
☆隊員のやりがい・健康・喜び

【1年間の航跡】

☆25年11月15日　横浜市教育委員会から交通安全功労団体として表彰される
☆25年12月3日　瀬谷区薬師寺区長と懇談会
☆26年1月7日　学援隊の2名が、瀬谷区いきいき区民顕彰を受ける
☆26年5月26日　瀬谷警察署長と懇談会
☆26年8月　日本財団のヒアリング、その後、青パト購入の補助金を受けることが決定、2月には軽自動車の新車が納入される予定
☆26年9月5日　神奈川県防犯協会、県警本部から、感謝状を拝受
☆26年11月13日　7年間活躍した青パトとお別れ。（車検切れ、新車購入のため）

【さくらの子応援隊の展望】

「瀬谷さくら小学校」は人の輪を作り、住み良い街作り、地域作りの中核となります。「さくらの子応援隊」は、その実践部隊として活動していきます。

利用しやすい学校図書館に

レインボースマイル　高見 加奈子　伊藤 綾子　永 尚子

私たち図書ボランティア『レインボースマイル』は、“本と仲よく”を目標にし、第２、第４月曜日の中休みに、絵本や紙芝居の読み聞かせをしています。また、今年度より第２、第４金曜日の朝、朝読書ということで、4年生や5、６年生の教室に、本の読み聞かせに訪れています。そのほかの活動として、学校図書館の本の整理整頓、学級文庫の整理、入れ替え、季節ごとに壁面の飾りを変えたり、四季の詩を選び掲示したり、といった活動を行っています。今年度は特に、『利用しやすい学校図書館』を目標にし、本の配列や整理に力を入れています。学校図書館が、子どもたちにとって居心地のよい、笑顔になれる場所になってほしいとの思いから、サークル名をレインボースマイルと名付けました。

今年度のレインボースマイルは18名で活動を行っていますが、お母さんだけでなく、お孫さんが通っているのでという事で、男性の方も活動に参加しています。主に図書室の本棚のリフォームなどを行っています。

当初は図書室の中で行っていた読み聞かせですが、お話を聞きに来てくれる子どもたちが増えてきて、本を借りたい子どもたちが通れず、狭くなってきたため、今は隣の空き教室を使わせてもらい読み聞かせを行っています。時には、大型の絵本や紙芝居を読んだりします。静かで、ゆったりと落ち着いて話が聞けるので、よかったです。

利用しやすい学校図書館ということで、誰もが本を探しやすくするために、一工夫しました。全国で統一されている分類番号を、低学年でもわかりやすいように色分けをしました。その配置図は図書館に入ってすぐの場所に、低学年にもわかるような高さで貼ってあります。この夏の推薦図書を一か所のコーナーにまとめ、子どもたちが探しやすいように、はまっ子読書コーナーの場所を作りました。また、詩の本から季節に合った作品を選び、作者の紹介とともに展示してあります。

先生方にも、ご自分の好きな本や、みんなに読んでもらいたい本を選んでいただき、感想とともに紹介しています。先生と同じ本を読むことによって、教室での会話が弾むことを期待しています。

お話しが終わると、子どもたちと一緒に折り紙をします。毎回、季節にあったものをと考えながら折るものを選んでいます。読み聞かせに参加する子どもたちの中には、お話より折り紙を楽しみに！！なんて子もいます。

学校図書館の中の壁面飾りは、レインボースマイルのメンバーが手作りで作成したものです。ぼろぼろにならないようにパウチで加工したり、お花など立体感のあるものはそのまま飾ってあります。７月には、本物の笹と短冊を用意して、七夕の飾りも行いました。メインとなる大きな壁面の飾りは、季節ごとに毎月替えています。

また、本は紙からできていて、紙は木からできているという意味を込めて、図書室内には木をイメージした飾りが、ところどころにあります。

詩の本から季節に合った作品を選び、作者の紹介と共に掲示しています。

横浜市の推薦図書を一つのコーナーにまとめ、子どもたちが探しやすいように『はまっこ読書コーナー』の場所も作りました。

各教室の前にある学級文庫は、主に年度の初めですが、本の整理をしたり入れ替えをしたりしています。たくさん読んでもらった本は、ぼろぼろになってしまいますので、そのような本は、『リ・ブック・せや』の皆さんが、２か月に1回修理をしてくれます。私たちレインボースマイルのメンバーも、教わりながら、作業のお手伝いに参加していますが、本を一度バラバラに分解し、また作り上げるという作業は、いまだにドキドキします。

以上が私たちレインボースマイルの活動です。これからも子どもたちとのふれあいを大切にしながら、笑顔のあふれる活動をしていきたいと思っております。

大雨と稲妻の中 片付けた夏まつり

地域連携部会　黒木昭博

こんにちは、地域連携部会の黒木です。地域連携部会活動というと、交流会の活動報告になりますが、今年も恒例のさくら小地域夏まつりを、7月の19、20日に実施いたしました。19日の朝7時から準備をはじめましたが、昨年に続いて今年も、中学生の生徒さんが数名ボランティアで参加してくれまして、やぐらづくりなどを手伝っていただきました。中学生のボランティアの継続参加も今までと違って、大変いい傾向だなと思っております。

今年は、初日は人出も大変多くてよかったのですが、2日目の開始から1時間ぐらい過ぎたころに天気がおかしくなりまして、スタッフの皆さんと話し合いをして、早めにやめるしかないなあという事で、早期に打ち切りを決断致しました。子どもたちも、その時まっすぐ帰っていれば、多分、濡れずに済んだのではないかと思います。そのあと、どしゃ降りになりまして、後片付けのメンバーは、パンツまでびしょ濡れになるほどの大雨や落雷の危険を感じながら、片付けたという思い出があります。それでも、地域の皆さんが協力してくれて、事故もなく無事に祭りを終えることができ、とてもよかったと思っております。

もともと夏まつりを始めたころの実施時期は、子どもたちが夏休みに入って、ちょっとだらけてきた1週間目ぐらいに、それを引き締めるというわけでもないですが、皆さんと楽しみを作っていこうということで、決めていました。今までそういうつもりで実施してきていたのですが、近年、実施時期が少し早くなってきていて、時期的に梅雨明け頃と重なり、特に今年はそうだと思うのですが、天候が不安定なところがありますので、これからは実施時期を、1週間ぐらい遅らせたらどうかなとも考えています。ここら辺のことは、今後、学校の他の行事なども関係しますので、学校とよく相談しながら決めていきたいと思います。

1年生の子どもたちがやぐらの上で踊るようになってから4年目位となりますが、そうすると、1年生から4年生まで踊りができることになります。1年生以外の子どもたちや、保護者も一緒になってやぐらの周りを輪になって踊って頂けると、本物の子どもたちの為の祭りになっていくものと思います。

いずれにしても、地域や保護者の皆さんと一緒に、子どもたちも参加して盛大な祭りができるというのは、とてもいいことだと思っています。子どもたちも喜んで参加し、楽しんでいるようですので、これからもがんばって続けていきたいと思っています。

スチールパンで盛り上がったサマーフェスティバル

地域連携部会　今井保美

さくら小地域夏まつりが終わり、翌週の土曜日に、ひなたやま地区6自治会合同による、恒例のサマーフェスティバルが、横浜ひなたやま支援学校（旧日向山小学校）校庭において、盛大に開催されました。

まず、夕方5時から6時半まではキッズタイムという事で、子どもたちに優先的に楽しんでもらう時間帯を設けています。幼児から中学生を対象に、ビンゴゲームやアイスキャンデーを、各々500人分を用意して配りました。ひなた山地区はもちろん瀬谷地区の子どもたちも大勢参加してくれました。

また、学校のクラブ活動でも人気のある、スチールパンの打楽器演奏などで楽しんでもらいました。模擬店も、例年通り原則6時半までは、アルコール類の販売および飲酒を禁止していました。横浜ひなたやま支援学校の生徒たちも模擬店を出し、自分たちが焼いたいろいろなパンを販売していましたが、安くて美味しいのをよく知っているお客さんに大人気で、瞬く間に完売してしまいました。

さくら小学校からも学校長はじめ、副校長や多くの先生方、下瀬谷地区の自治会並びに学校関係者の方々も大勢お越しいただきました。一晩だけの夏祭りですが、来年もまた、下瀬谷地区の方々も是非遊びに来てください。

おしゃれなオタマジャクシ

モチモチ文庫　笠原さん　野口さん

「こんにちは、笠原と野口です。今日は、初めて、1年生にどんな読み聞かせをしているか聞いていただきたいと思います。オタマジャクシの話です。最近、オタマジャクシなんかどこにいるかなって感じですが、そういう環境を大事にしたいと思います」という前置きで、『おしゃれなオタマジャクシ』という大型絵本の読み聞かせをしていただきました。笠原さんの語りは、プロの声優を思わせる語り口で、思わず聞きほれてしまいました。毎週金曜日に聞かせているそうですが、子どもたちも金曜日が待ちきれないのではないかと思いました。読み聞かせは、また読書とも違った想像を、読み手によって掻き立てられます。映像文化全盛時代に、子どもたちも貴重な体験ができているのではないでしょうか。ずっと続けてほしいと思います。（西村）

21年間の活動に幕 キッズ化

はまっ子部会　青木 俊太郎

瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクールは、旧下瀬谷小学校時代、平成5年に開設されました。平成22年に日向山小学校との再編統合に伴い、瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクールが誕生し現在に至るまで、児童の創造性、自主性、社会性を養い、児童の健全育成を目的とし、安全、安心な遊び場として活動を行ってまいりました。

近年、働く女性が増え、未就学から学齢期まで、切れ目のない支援が必要です。また、小学校入学を機に仕事と育児の両立が難しくなる、いわゆる「小1の壁」をなくすために、学齢期の留守家庭児童への対応が求められます。そこで横浜市は、放課後19時までに居場所を充実させるため、平成31年度までに、すべての小学校を、「はまっ子ふれあいスクール」から「放課後キッズクラブ」へ転換していく予定です。

当はまっ子ふれあいスクールは上記の趣旨に基づき、平成27年2月をもって開設21年間の幕を閉じ、平成27年3月より「瀬谷さくら小学校放課後キッズクラブ」へと転換します。

キッズクラブは、すべての児童の交流の場と、留守家庭児童対応の場の役割を兼ね備えた、安全で快適な放課後の居場所です。キッズクラブになると、運営主体が運営協議会から法人に変わりますが、子どもたちは、ひきつづき参加できます。なお、17時以降参加するお子さんについては、登録をお願いすることになります。1、2月に保護者説明会を行います。

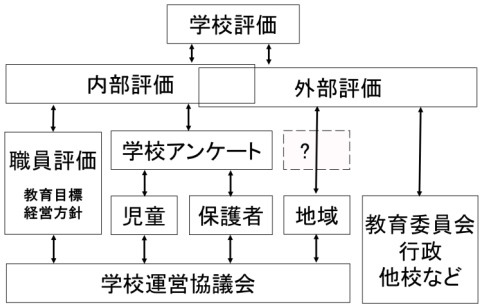
		はまっ子 ふれあいスクール		放課後キッズクラブ
開設時間	月曜日～金曜日	放課後～18時		放課後～19時
	土曜日・学校長期休業日	9時～18時		8時30分～19時
利用料		無料	➡	17時まで　無料 17時～19時　月5000円 （1回800円でも利用可）
傷害見舞金 制度負担金		500円／年		500円／年
おやつ代		なし		実費（100円程度）

学校評価について

広報・学校評価部会　西村 快晴

こんにちは、広報・学校評価部会の西村です。PTAの太田会長と永副会長と一緒に活動しています。いつも広報活動についてお話していますので、今日は学校評価についてお話します。

学校評価というと上から目線で見るように受け取られがちですが、そうではなく、3つの評価があります。職員による内部評価と児童と保護者へのアンケートによる評価、それに外部評価です。



校長先生からお話がありましたように、学校には教育目標や中期経営目標があります。これらを実現するために、毎年重点実施項目（P）も定められています。先生方は、授業や児童指導、あるいは自身の研修会などを通して、これらを実行（D）されます。また、これらが確実に実行されたか、自分たち自身（小グループ）で振り返り（C）をされます。その振り返りをもとに改善策をつくり、それを実行(A)されます。このPDCAを繰り返すことによって学校をよりよくしていく取組です。この振り返りこそが内部評価で、アンケートの結果もここに加味されます。一方、外部評価は、地域の人たちや中学校などの他校、行政、その他、学校の外から見た評価です。教育委員会なども入るかもしれません。学校運営協議会委員には、地域の代表や学識経験者も入っており、先生たちのPDCAに対していろいろ注文をつけたりします。これが私たちの学校評価です。アンケートは年2回、学校評価も年2回、前期と後期にそれぞれ実施されます。地域の人たちへは学校運営協議会だよりを、年3回発行して、学校評価についてもお知らせしていますが、地域の人たちの意見を聞く機会がまだ少なく、これを作ることが、今後の課題と思っています。

自分たちの命は自分たちで守る

児童を災害から守る検討部会　網代 宗四郎

こんにちは、児童を災害から守る検討部会の網代です。

児童の皆さんには、地震災害発生時に、自分の命や家族、お友達の命を守る行動のとれる人になっていただきたいと思います。その為に、地震災害に対する知識、判断能力を身に付けると共に、訓練をしっかり行っていただく事が大切だと考えております。

児童を災害から守る検討部会を開催して、秋季防災訓練に向けて訓練のあり方について協議を致しました。秋季防災訓練では、学校主催の避難訓練の後に、地域の皆さんと一緒に各種訓練を熱心に行っていただきました。

１年生から5年生までは緊急給水訓練を、また、1年生から6年生までに煙体験をしていただき、さらに、6年生には、配給訓棟、避難場所区割り訓練、初期消火訓練等も行っていただきました。今後も、防災についてのお話を児童の皆さんにしてまいりたいと思っております。

地域の皆さんや保護者の皆さんには、災害発生時、児童の皆さんの命を守る為に適切なご指導や保護を行って頂くよう、引き続きお願いしてまいります。

児童の皆さんが登下校時に発災した場合を想定した安全確保について、学援隊の皆様とも連携、協議をしてまいります。

【編集後記】

今回はさくらの会特集という事で、各部会の発表を中心に掲載し、ニュースなどは割愛させていただきました。これまで実施した主な活動に関する情報や写真は、発表された記事の中に含まれておりますのでご覧いただきたいと思います。

注目の、キッズの運営法人選定に関しましては、応募してきた5法人のプレゼンテーションに、地域、PTA、学校の代表が参加し、意見を述べています。最終的には区長が決めますが、選定経緯については、3号で、ある程度お知らせできるのではないかと思っています（西村）

学校運営協議会だより
平成26年度・第2号
平成２６年１１月２８日
横浜市立瀬谷さくら小学校
学校運営協議会
発行責任者
会長　網代宗四郎
編集
広報・学校評価部会